

差別のメカニズムと障害の社会モデル

～保育・教育に今問われるもの～

講 師：内田 龍史（前尚絅学院大学教授）
月 日：2023 年 3 月 6 日（月）
時 間：15：30～17：00
会 場：尚絅学院大学 保育実習室（2 号館 2 階）
参加費：無料



「尚絅学院大学放射線被ばく下の幼児教育研究センター」主催の学習会です。尚絅とゆかりの深い内田龍史 関西大学教授をお招きいたしました。どなたでも参加出来ます。Zoom 配信を希望される方は事務局までご連絡ください。後日アドレスをお伝えいたします。

子どもの権利条約では「子どもの最善の利益」と言いながら、日本の現況は、子どもの貧困が 7 人に一人、国連人権委員会から日本政府に対し障がい児が統合教育を受けられないと改善勧告が出されています。

保育でも 75 年変わらない低い保育基準のため幼児への虐待が後を絶ちません。

当センターは放射能汚染の渦中で子どもの権利擁護の研究と活動を進めてきました。そこで、尚絅在任中から一貫して差別問題と人権に取り組んできた内田先生から差別はなぜ起こるのか、その克服を通していかに人権を確立するのかを話して貰います。来場を心からお待ちしております。

ご注意

- * 当日は入学試験のため入校は 15 時からです。早めに来校されても入れませんのでご注意ください。
- * 十分な換気を行います会場では可能な方はマスクを着用してください。発熱や体調不良の場合は参加をお控えください。

内田龍史（うちだ・りゅうし）

1976 年生まれ。大阪市立大学大学院文学研究科後期博士課程修了、博士（文学）

尚絅学院大学教授を経て、現在、関西大学社会学部教授、大阪府人権施策推進審議会委員

著書：『被差別部落マイノリティのアイデンティティと社会関係』（解放出版社、2020 年）、編著に『部落問題と向きあう若者たち』（解放出版社、2014 年）、『現代の部落問題』（解放出版社、2022）など

論文：「名取市を中心とした東日本大震災における被災と復興過程に関する研究」尚絅学院大学地域教育・研究センター編『尚絅学院大学 東日本大震災 10 年間の取り組み』尚絅学院大学出版会:192-207,2022. など
地域社会学会賞受賞

問い合わせ：SIREC（尚絅学院大学放射線被ばく下の幼児教育研究センター）

事務局:東義也研究室（〒981-1295 ゆりが丘 4-10-1） TEL:022-381-3369

Mail:higashi@shokei.ac.jp